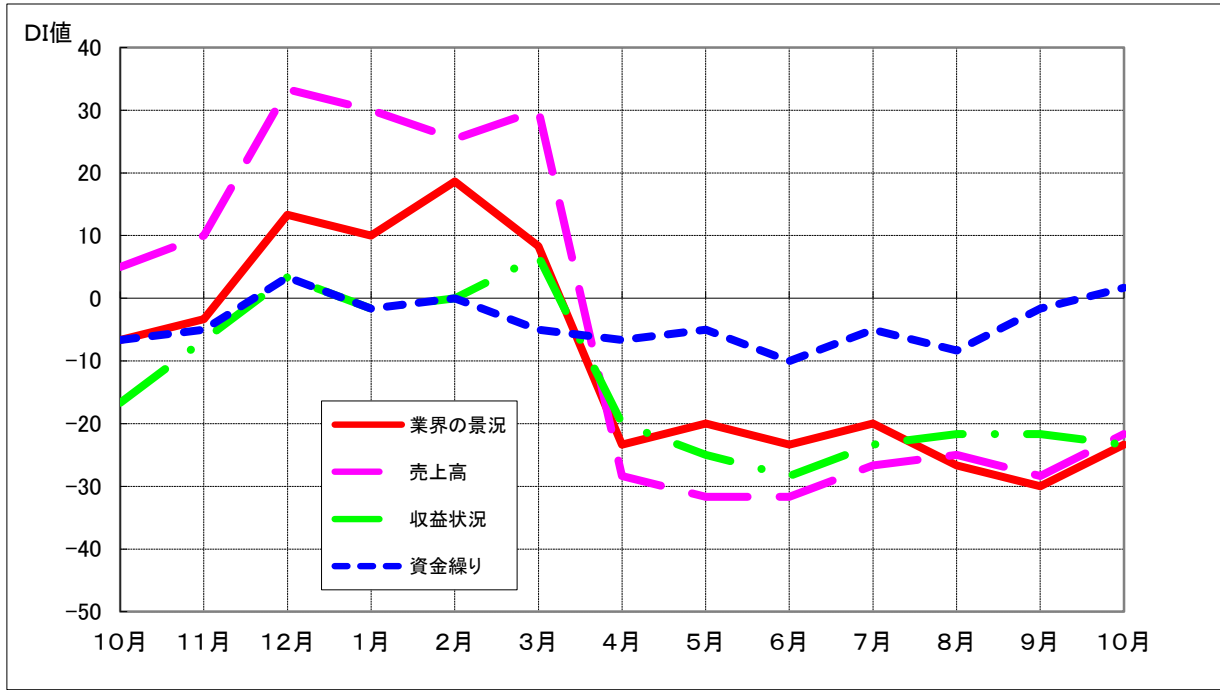


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成25年10月～平成26年10月

単位:ポイント



	H25			H26									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-6.7	-3.3	13.3	10.0	18.6	8.3	-23.3	-20.0	-23.3	-20.0	-26.7	-30.0	-23.3
売上高	5.0	10.0	33.3	30.0	25.4	30.0	-28.3	-31.7	-31.7	-26.7	-25.0	-28.3	-21.7
収益状況	-16.7	-6.7	3.3	-1.7	0.0	6.7	-20.0	-25.0	-28.3	-23.3	-21.7	-21.7	-23.3
資金繰り	-6.7	-5.0	3.3	-1.7	0.0	-5.0	-6.7	-5.0	-10.0	-5.0	-8.3	-1.7	1.7

○10月のDI値は前月と比べ、1項目で悪化し、3項目で改善した。「収益状況」DI値は1.6ポイント悪化し、「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「売上高」DI値は6.6ポイント、「資金繰り」DI値は3.4ポイント改善した。前年同月と比べると、3項目で悪化し、1項目で改善した。「業界の景況」DI値は16.6ポイント、「売上高」DI値は26.7ポイント、「収益状況」DI値は6.6ポイント悪化し、「資金繰り」DI値は8.4ポイント改善した。

10月は、前月に引き続き円安にともなう製造コストの増加を懸念する報告が寄せられた。また、消費税の税率が再び上がる可能性を懸念する報告も寄せられたため、今後の動向を注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、醤油・味噌製造業から、急激な円安にともなう使用原材料等の値上がりでさらなる製造コストの増加が懸念されるとの報告が、機械器具製造業からは、急激な円安と消費税の税率UPが来年あるかどうかがかこしばらくの問題であるとの報告が出ている。非製造業では、花卉卸売業から、ハロウィンなどのイベントをPRしカボチャが一時的に売れたが、売上全体では昨年を大きく割り込んだとの報告が、砂利採取業からは、ここ2、3年続いた災害復旧工事も完了した箇所が多く、骨材需要は減少しているとの報告が出ている。